

カーボン・サイクル・イノベーション

カーボンニュートラルの実現に向け、CO₂の主要な発生源である石油への依存脱却が求められています。石油依存から脱した時代においても、素材は私たちの生活に不可欠であるため、素材の原料を石油から、バイオマスやCO₂へ切り替えていくことが必要です。そこで私たちは、バイオマス・CO₂を原料として素材・燃料を作る新たな技術を用いた、農林水産業と素材産業が融合した地域炭素循環（カーボンサイクル）の構築に向けて、産官学体制の「カーボンサイクルイノベーションコンソーシアム」で検討しています。

コンソーシアムでは、日本各地の農林水産業地帯への展開も見据え、山形県酒田・庄内エリアと宮城県岩沼・石巻エリアをモデル地域として、複数技術を組み合わせたプロセス設計、革新技術の探索、需要創出に向けた環境価値ルール設計を推進しています。

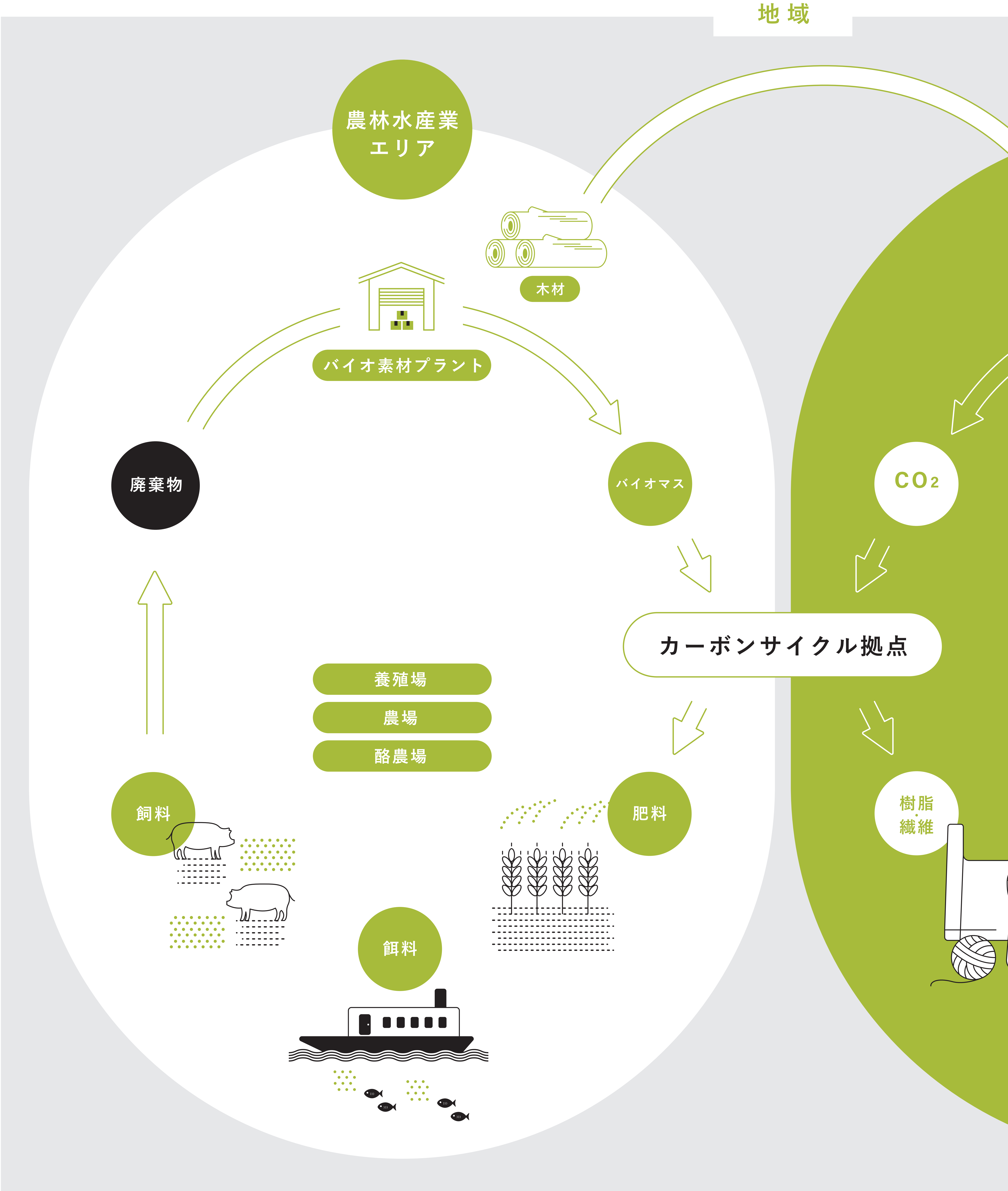
石油依存なき時代に向けた

CCU・バイオリファイナリーで築く

地域産業と調和した炭素循環社会

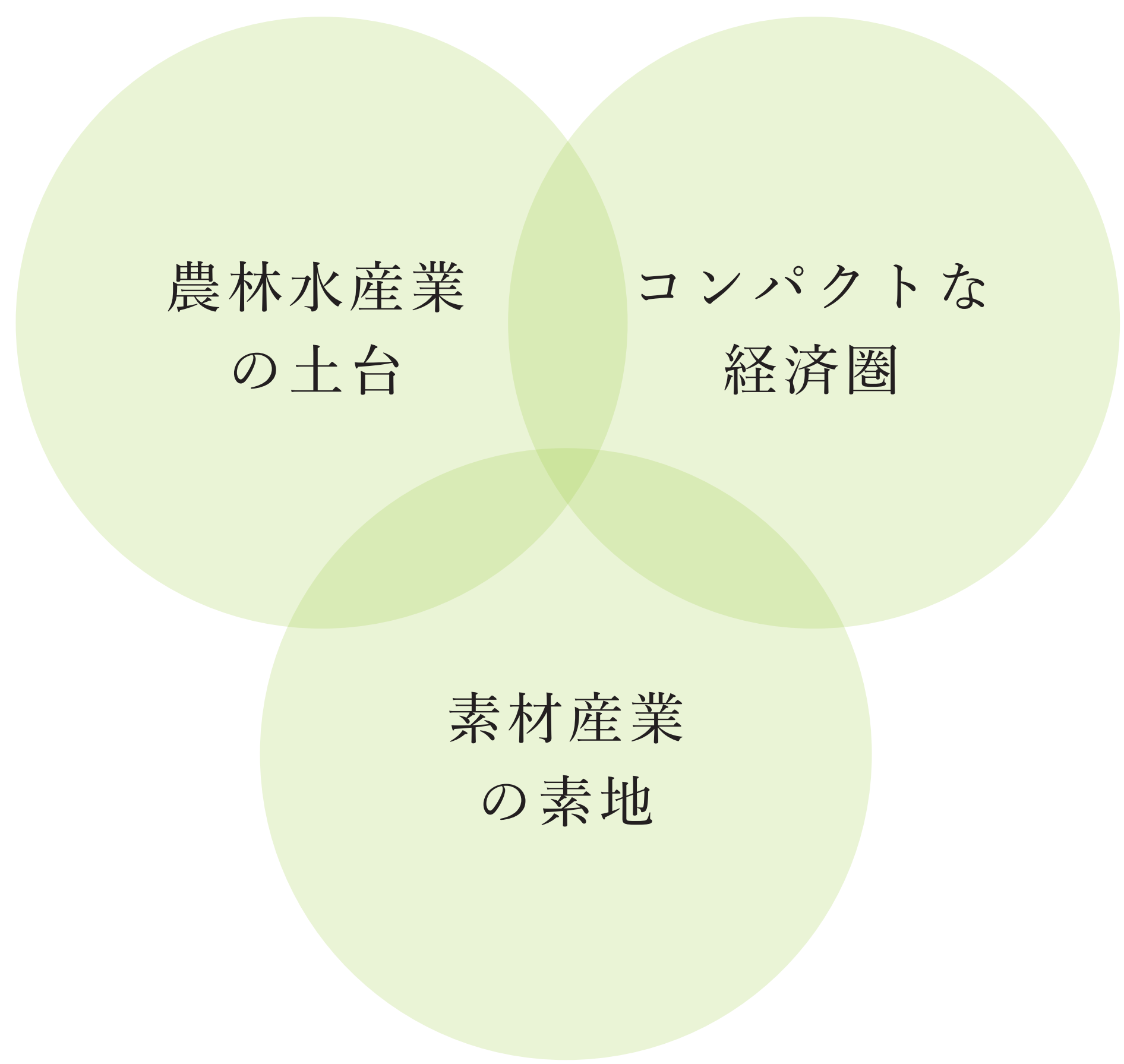
農林水産業と素材産業が連携したカーボンサイクル

- ・ 気候変動に歯止めをかけるために、CO2 の主要な発生源である 石油供給の抑制が急務です。
- ・ 石油依存から脱した時代においても、素材は不可欠であるため、炭素源のバイオマスとCO2 への代替が欠かせません。
- ・ バイオマスとCO2 を持続的に活用するために、「カーボンサイクル（炭素循環）」の視点が重要です。



カーボンサイクル 素材産業との親和性

農林水産業由来の豊富なバイオマス、素材産業の素地、コンパクトな経済圏がある地域を候補とし先行モデル構築を進めます。



先行モデル構築

